

一般社団法人鷹之台カンツリー倶楽部(宗岡正二理事長 千葉県千葉市花見川区横戸町1501)は、1932年に開場した「鷹之台ゴルフ倶楽部」が前身となり、90年以上の歴史をもつ。18ホールを有し、各コースが松林でセパレートされた戦略性の高い林間コースで、フェアウェイのコンディションも常に良好である。昨年、同倶楽部のフェアウェイ管理にバロネスの無人5連リールモア ULM272が導入され、フェアウェイコンディションの向上、作業の省力化・効率化などに貢献している。新しい技術・機器を導入し、常にコースに磨きをかける千田弘喜GK(グリーンキーパー)と機械担当の佐瀬直人主任に利用状況を伺った。

ゴルフ場ルポ

鷹之台カンツリー倶楽部

(千葉県千葉市)

コースの歴史は古く、18ホールのコースとしては最大戦の戦況激化により閉前身の「鷹之台ゴルフ倶楽部」も長く、全日本や関東プロ戦。戦時中はイモ畑にな「楽部」は1932年に開口などの大会が開催されるなど、事実上の閉鎖と場した。当時国内の18ホた。しかし、第二次世界



ULM272をバックに千田GKと佐瀬主任

1954年に「鷹之台カンツリー倶楽部」として新たに開場した。設計は、日本ゴルフコース設計の第一人者といわれている井上誠一氏によるもの。同倶楽部は、国内最高大会「日本オープンゴルフ選手権競」にふさわ

ラット。各ホールが松林でセパレートされておある。フェアウェイは水はけが良く、コンディションは常に良好。池はながバンカーが豊富で、戦略性が高い配置となっている。ホール間のインターバルも短く、楽にラウンドできる。

同倶楽部には住宅が立ち並ぶが、街中にある栄社(本社 愛知県豊川市)が製造する無人5連エンジンを採用している。昨年、バロネス関東(東京都足立区入谷5の7の8)から購入し導入した。

フェアウェイの総面積は約10万平方メートルで、ショートのホールを除き、1日「刈り込み作業データ」を7ホールほどの刈り込みを行う。ULM272は、GNSSを利用し、無人での芝刈り作業を目的とした乗用型無人芝刈機。RTKシステムにより、精度の高い位置測定と正確な運動再現技術による芝刈り作業を行うことができ、芝刈りが可能になる。動力にはディーゼルエンジンを採用。走行、無入状態で高精度に再作業機は油圧システムにより駆動する。

また、ティー・MAバックすば、いつでもから気持ちに余裕が出て

誰でも、きれいに芝を刈ることができ。また、世界で高い評価を受けるバロネス伝統のリアルカッターと、新機能的クリップピッチコン

以前は、冬など暗くなる前に作業を終えようと慌てて作業し、後々見てみると芝生にダメージが蓄積されていることもあったという。ティーチングは佐瀬主任が行った。千田GKは「見本が良かったので、コースの状態を高水準で提供することを目標としてくれる。変なところを刈り込むこともない」とベテランの技までこれからもバロネスの機械をサポートしていく。

同倶楽部では、ULM272の他、リールモア花見川区横戸町1501電話047-484-3151

コース状態を高品質に バロネス製品がサポート

し環境を備えており、これまで4回の開催を誇っている。距離は長く戦略性の高い林間コースで、関東でも有数の名門コースであった。千田GKのゴルフ場管理業務の経験は30年以上

歴あるコースを同倶楽部コース管理部の千田GKをはじめとした社員10名、パート24人で管理している。今回は、千田GKと機械担当の佐瀬主任に、コース管理の状況を伺った。



様々なバロネス製品で高水準にコース管理している



桜に囲まれたグリーン

千田GKは「コースを常に良い状態に保つことが重要だが、高水準でキープすることは難しい。今後は人手が少なくなってくるので、なるべく手間を掛けずに品質の良いコースを提供できるように工夫していく」と、ラ

千田GKは「コースを常に良い状態に保つことが重要だが、高水準でキープすることは難しい。今後は人手が少なくなってくるので、なるべく手間を掛けずに品質の良いコースを提供できるように工夫していく」と、ラ